

【与論町立与論中学校】

勤務校での仕事の様子や魅力について

与論中学校は1島1中で、島内すべてが校区。すべてが学びのフィールドです。

島の子どもは、島の未来を支える大人になります。そう考えると、島での勤務は、島の未来を育むとてもやりがいのある仕事です。

「ゆんぬ学」(ゆんぬ=与論の)といって、特別の教育課程編成を認められており、島内の歴史や文化、産業にいたるまで、様々なものをテーマに扱って、探究活動にあたっています。この「ゆんぬ学」は、小学校～高等学校まで12年間で、こどもたちの「島だちの力」を育んでいます。

離島での生活の様子や魅力について

休日は、のんびり家族と過ごすことが多く、朝は島内のコーヒー屋さんでテイクアウトしたドリンクを片手に最高に綺麗な海へ出かけ、家族と朝食をとることもあります。

小さな島なので、どこからでも朝日や夕日が見え、広い空や白い砂浜、「ヨロンブルー」と称される透明感のある海の色に感動すること間違いないし。夜は、絶景の星空や天の川が眼前に広がり、毎日がプラネタリウム状態です。



優しい子どもたちが多く、娘2人もこども園や小学校にすぐに慣れ、毎日楽しく通っています。

教員の住居は正直あまり新しくはなく選択肢もありませんが、同じ住宅の先生たち同士、庭でBBQをするなどして、学校外でも親睦を深めています。

島内にスーパーやホームセンターがあり生活用品を購入できます。台風などで船が長く欠航し食料品が不足する場合を除けば、基本的に生活に問題はありません。時期になるとマンゴーやドラゴンフルーツ、アテモヤや島バナナ等の南国フルーツも楽しめます。インターネット通販等でも様々なものを購入でき、困ることは少ないです。

与論中学校では、ほとんどの部活動が土日のみ地域部活動として活動しています。地域の方々が大会引率や土日の指導をすべて行っている部活動もあります。部活動の指導を行いたい教員も部活動の指導に関わることができます。

これから離島に赴任する方へのメッセージ

初めて島に赴任する際には、不安なことが多いと思いますが、離島でしかできない経験や離島でしかできない教育があります。島の人たちと協力して島の未来をつくる子どもの教育に携わることは、本当にやりがいがあると感じています。確かに、島には無いものも多いですが、代わりに、ここにしかないものがあります。